



300個の金メダル獲得

「とにかく負けたくないんですよ」

と語る西原八重子さん（78）。

昨年10月に佐賀市で開かれた「第33回全九州マスターズ陸上競技選手権」、75〜79歳クラスの2部門（400メートル・800メートル）で優勝。この2つの金メダルで、これまで獲得した金メダルが通算300個に達しました。西原さんは、国内屈指の女性ランナーのひとりです。

ランナーになるきっかけ

33歳の時、子育ての合間に近所を走り「気持ちがよくていい気分転換になりました」そこから競技人生がスタートします。本格的なレースに初めて出たのは45歳の時の玉名市民マラソン。結果は最下位に。その悔しさをバネに練習を重ね、その後多くの市民マラソンに出場し上位を目指します。そして平成元年の全日本マスターズ1500メートル（50〜54歳）では5分29秒

「とにかく負けたくないんですよ」

イロ
マナ
03

300個の金メダル
玉名のランナー

Name

玉名市 築地
西原八重子さん
ニシハラヤエコ

●昭和13年生まれ。33歳から走り始め、約45年かけマスターズ陸上や渡嘉敷村のマラソンなど多くの市民マラソンで300個の金メダルを獲得。築山小マラソン大会では閉会式の講評をここ6年務めている。



1冊のノートに、これまで出場したレース結果を丹念に記録し、次の目標作りに生かしてトレーニングに励んでいる。



今後の目標



「最近、年々体力が衰えているのがわかります。そしてライバルが引退していくので寂しいことも。それでも、マラソン大会で優勝したい。そして、2位になり悔しかった」と思い出を語ります。

「スターズ陸上の次のクラス（80〜84歳）で優勝したいですね」、そう次の目標を掲げる西原さん。「これからもずっと走り続けたい」と話す笑顔は、力強く、明るく輝きます。

